

中小企業人材確保推進事業

<http://www.aisokkyo.or.jp>

雇用環境マニュアル

雇用環境マニュアル

2009年2月20日発行

発行：社団法人 愛知県測量設計業協会
〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内三丁目19番30号
愛知県住宅供給公社ビル3階
TEL/052-953-5021
FAX/052-953-5020
企画・印刷：株式会社 建通新聞社 中部支社
編集：ハタ コンサルタント 株式会社

社団法人 愛知県測量設計業協会

雇用環境に関するマニュアル

= はじめに =

測量設計会社社員が成果を上げることのできる雇用環境を創ることが、測量設計会社としての役割であり、責務である。

本マニュアルでは、雇用環境をよくすることで、社員一人一人が成長し、成果を出し、その結果、企業全体の業績を上げる方法を考えてみよう。

測量設計会社 社員に必要な条件とは

成果を上げる人材と、上げない人材とは何が違うのだろうか。そのために必要な条件を明確にすることで、必要な雇用環境を整備することが可能となる。

目次

第1章	測量設計会社 社員に必要な条件とは	P1
第2章	成果を上げるために実施すべきことは	P3
第3章	能力を上げるためには	P5
第4章	熱意(やる気)を上げるためには	P9
第5章	考え方を正しく導くためには	P16

成果を上げる社員に必要な条件を考えてみよう

成果を上げるためには、次の式にて高得点を上げることが必要である。

$$\text{成果} = \text{能力} \times \text{熱意(やる気)} \times \text{考え方}$$

成果を上げるために必要な条件の第1は「能力」である。これは、それぞれの業務を遂行するために必要な知識や技能をいう。測量設計会社社員であれば、測量技術、設計技術、営業力などがそれにあたるだろう。ここでは、これを1から10までの10段階で評価する。

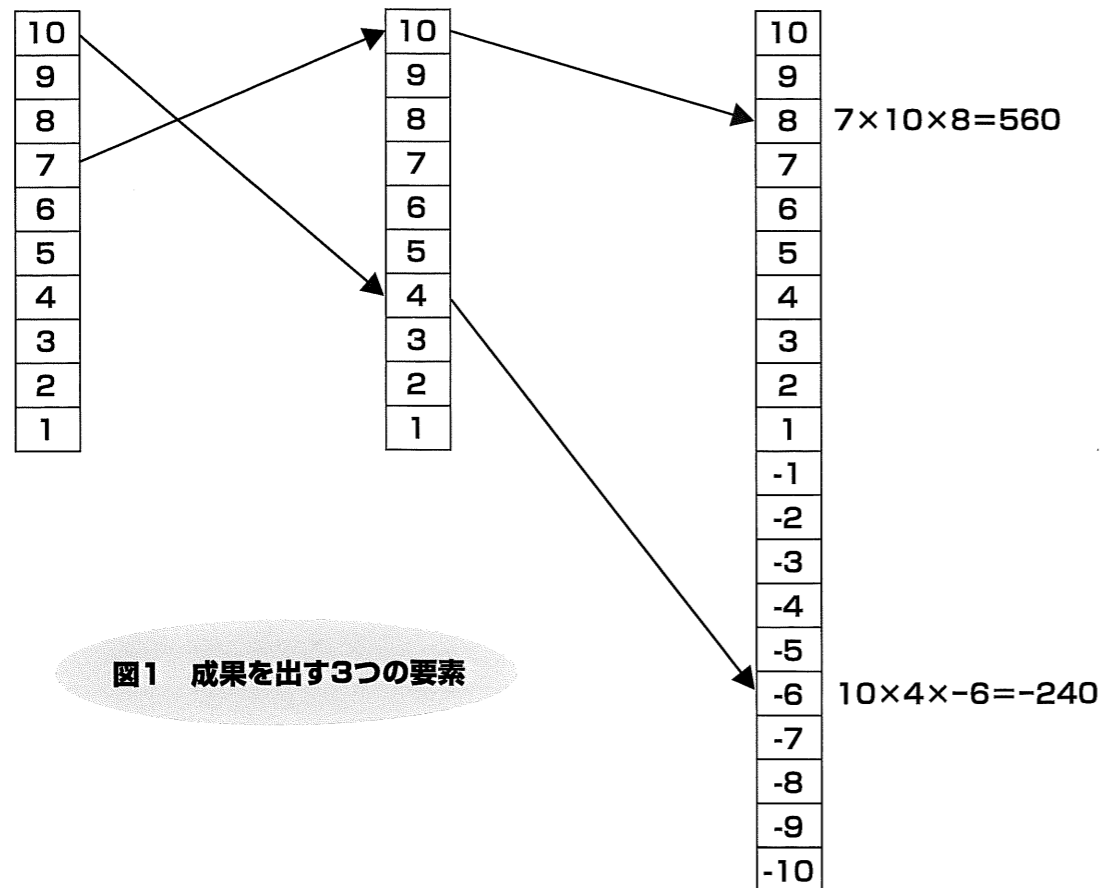
では、能力が高ければより成果がでるのだろうか。

高学歴の人や、学校の成績が良い人が必ずしも成果を上げるとは限らない。そこで必要な条件の第2は、「熱意(やる気)」である。例え能力が低かったとしても熱意(やる気)が高ければ、能力不足を補うことができるのだ。能力が7であったとしても、熱意が10であれば掛け合わせれば70となり、能力10、熱意(やる気)4の場合の40よりも大きくなり、より成果がでることとなる。ここでは、これを1から10までの10段階で評価する。

それでは能力が高く、熱意が高いと高い成果をあげるのだろうか。

答えは否である。これは歴史上の事実が証明している。例えばドイツのヒトラーは能力が高く、熱意も高かったが誤った考え方を持っていたため多くの人を殺してしまうこととなった。また日本でも誤った考えを持つ宗教家が、優秀な信者を集め熱意高く活動した結果、多くの死者を出してしまった。そこで必要な条件の第3は、正しい「考え方」である。プラス思考とマイナス思考という言葉通り、「考え方」にはプラスとマイナスがある。ここでは、マイナス10からプラス10までの20段階で評価する。

能力10、熱意(やる気)4、考え方-6の人は、 $10 \times 4 \times -6 = -240$ の成果を作るが、能力7、熱意(やる気)10、考え方8の人は、 $7 \times 10 \times 8 = 560$ の成果を作る。



第2章

成果を上げるために実施すべきことは

どのような雇用環境であれば高い成果を作りだす人が育つかについて考えてみよう。